

科目名	ネットワーク演習I		時間数(半期)	36 時間		
講師名	伊藤寛恵		コマ数 (半期)	18 コマ		
曜日時限	火曜日	2限	実務経験の有無	有 ・ 無		
単位数	2	単位	内部講師・外部講師	内部 ・ 外部		
実施形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ eラーニング ・ 見学					
開講期間	1→2 年 前→後 期		補講・特例措置	あり ・ なし		
スマホ持ち込み	可	不可	授業形態	対面	ZOOM	
採点方法	前期・後期の期末筆記試験・実技試験の評価点数範囲 S (秀) → 100～90点、 A (優) → 89～80点、 B (良) → 79～70点、 C (可) → 69～60点、 D (不可) → 59～0点					
	期末試験を評価の対象とする場合			全体の	50%	
	D判定 (不可) の場合の再試験			有	無	
	D判定 (不可) の場合の課題提出			有	無	
	出席率を評価の対象とする場合			全体の	10%	
	小テストを評価の対象とする場合			全体の	10%	
	課題提出を評価の対象とする場合			全体の	20%	
	授業への取り組みの姿勢、態度			全体の	10%	
	公欠時の提出物			有	無	
	検定試験、資格試験			有	無	
	検定名	Huawei HCIA-Datacom		検定料	22,000円	
概要	このコースは、将来の新しいネットワーク人材のためのデータ通信の基本コースであり、WLAN、ネットワークプログラミング、自動運用および保守、その他のテクノロジーの新しいアップグレードと統合です。 中小規模のネットワークの設計、実装、運用、保守の機能をワンストップで簡単に習得できます。					
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ通信とネットワーキングの基礎を理解する。</li> <li>・相互接続されたIPネットワークとスイッチングネットワークを構築できる。</li> <li>・基本的なネットワークプロトコルとネットワークサービスを理解する。</li> <li>・キャンパスネットワークを構築できる。</li> </ul>					
目標とするスキル (各項目について◎、○を記入してください)						
会話	意思疎通		協調性		自己表現	◎
職業人意識	責任感		向上心		勤労意識	○
基礎学力	読み書き		計算能力	○	社会人能力	◎
ビジネスマナー	マナー		レター			
資格・専門知識	資格	◎	専門知識	◎		

内容と時間数	1回	HUAWEIデバイスの紹介、eNSPをインストールする基本的な操作
	2回	ネットワーク通信の基本概念、ネットワーク参考模型の紹介
	3回	HUAWEI VRPの紹介、ネットワーク層プロトコルの紹介
	4回	IPアドレッシングの紹介、IPルーティングの基礎
	5回	スタティックルーティングの紹介、OSPFプロトコルの紹介
	6回	ダイナミックルーティングプロトコルOSPFの詳細
	7回	スイッチの転送原理、VLAN技術の紹介
	8回	VLANのポートと仕事メカニズム、VLAN間の通信、VLANの設置
	9回	STPプロトコルの紹介、RSTPのプロトコルの紹介
	10回	イーサネットリンク集結、スタッキングとクラスタリングの紹介
	11回	ACL原理と制御、ACLの編集と読み取り
	12回	AAAのメカニズムと設置、ネットワークアドレス転換
	13回	ネットワークサービスの紹介 (FTP、Telnet、DHCP、HTTP)
	14回	無線ネットワークの基本概念、無線ネットワークの仕事メカニズム
	15回	PPPの紹介、PPPoEのメカニズム紹介
	16回	MPLS/SRの紹介、SNMPプロトコルの紹介
	17回	IPv6の紹介、IPv6アドレスの設置
	18回	
使用教材	<b>オリジナル教材 ・ 市販教材 ・ 学校のコピー使用</b>	
	市販教材の場合は出典名、ISBN：	
	学校のコピー使用の場合は枚数： <span style="float: right;">枚/半期</span>	
D判定時の救済措置（有料）	D判定時の再試験、課題再提出については、有料とし60点が上限（C判定）となる。 1科目の再試験、課題再提出の代金は2000円として職員室に支払う事。	
関連科目		
備考		